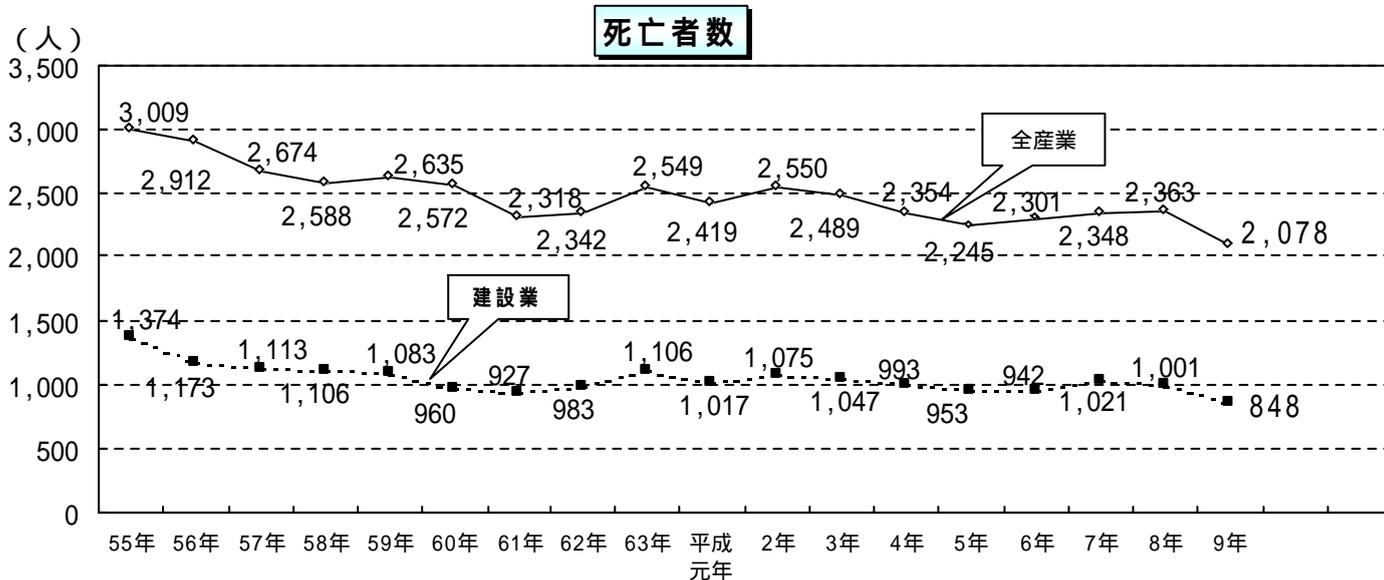
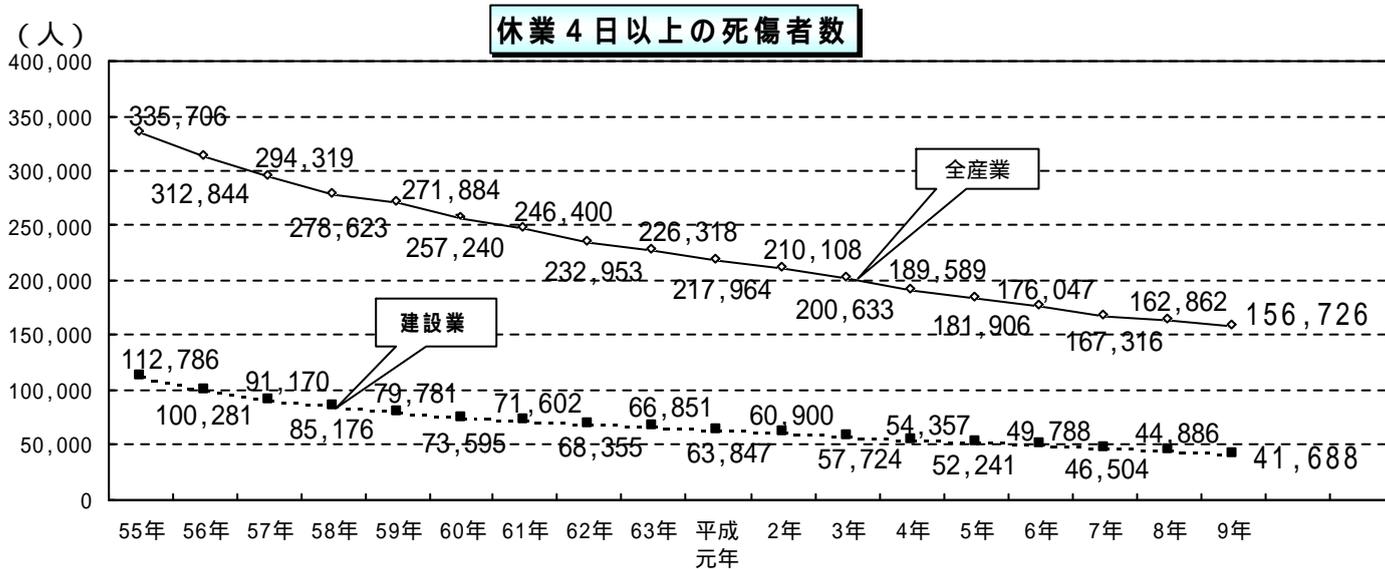


平成 9 年の労働災害発生状況（労働省とりまとめ）

建設業における労働災害事故は減少！！

労働省は平成 9 年（1 月から 12 月）における全国的な労働災害・死亡事故の発生状況についてとりまとめを行いました。建設業における労働災害についてみると、死傷者及び死亡者とも前年を下回り、いずれも過去最少となりました。しかしながら、建設業の死亡者数の全産業に占める割合は 40.8% であり、依然として高い割合を示しています。

また、近畿地建の事故発生状況については、“あんぜん”の前号までで報告しているとおり、死亡者数については、前年度を下回っているものの、発生件数については増加傾向にあり、平成 9 年度は過去最悪の発生件数となっています。



『近畿地区建設工事安全対策推進協議会』の安全パトロールについて

近畿地区建設工事安全対策推進協議会で実施する平成10年度上半期の安全パトロールのうち“PC部会”が、6月25日「車瀬橋上部工事」（福知山工事事務所 発注）の現場を対象に実施されました。

今後は、7月9日に“鋼橋部会”（福井工事事務所 発注）、7月下旬に“土木部会”（六甲砂防工事事務所 発注）、8月7日に“建築部会”（神戸営繕工事事務所 発注）等安全パトロールが計画されていますので、安全パトロールの対象となる事務所はご協力をお願いします。

なお、各部会の安全パトロール結果については事務局（本局技術調査課）でとりまとめを行い、後日報告する予定です。

《近畿地方建設局 事故調査委員会》の開催

近畿地方建設局管内における直轄事業に係る工事及び管理に関して発生した事故について、発注状況・工法・作業環境等を調査し、技術的に分析して類似工事における事故の再発を防止することを目的とした「事故調査委員会」が、平成10年7月7日に開催されます。

委員会の検討結果については、後日各事務所に報告する予定です。

5月の事故情報

発生日	発生場所	事故の状況
5月6日	兵庫県	道路維持作業において片側2車線の内、走行車線を規制し、照明灯撤去作業中、一般走行車輦に対する事前予告のため、後尾警戒車（標識車）を配置していた。照明灯の撤去終了に伴い、交通規制を解放中に走行車線を走行してきた一般車輦（10tダンプトラック）が車線外に逸脱し、停車中の後尾警戒車側面に衝突して運転手が負傷した。 〔擦過傷 全治7日間〕
5月12日	兵庫県	河川工事における発生残土を運搬中、運搬車輦（11tダンプトラック）が交差点手前で信号が黄色へと変りブレーキをかけたところ、路面の凹凸部（わだち掘れ）に降雨により水が溜まっていたためスリップし、ハンドルを取られ、車体が対向車線にはみ出したため、対向車線を走行してきた一般車輦（4tトラック）の右前面部に衝突し、一般車輦の運転手が負傷した。 〔右橈骨及び尺骨茎状突起骨折、左脛骨骨折 全治2ヶ月〕
5月14日	和歌山県	水防演習場整備工事において、木製階段の組立作業中、堤防天端に仮置きしていた資材及び道具を取りに作業員が階段（高さ4.5m）を上ったところ、足を滑らせバランスを崩し転落して、作業員が負傷した。 〔頸椎不全損傷 全治6週間〕
5月22日	大阪府	管渠集水桝清掃作業において、片側2車線道路の路側帯と走行車線の一部を規制し、排水管清掃車、側溝清掃車と作業標識車の3台で排水管清掃を実施中、追越車線を走行中の一般車輦が蛇行し、路側部に停車していた排水管清掃車の右後部と右前部に衝突した。 〔物損〕
5月27日	兵庫県	舗装修繕工事において片側2車線の内、追越車線側を規制し、基層工の準備作業中、フィニッシャーのガスボンベを搬送中の車輦が、搬入方法の確認を行うため路肩に止めて下車し、資材搬入方法等の打合せを行っていたところ、走行車線を走行してきた二輪車が運搬車輦に接触して転倒、二輪車運転手が負傷した。 〔左手人差指不完全切断〕